

9月議会2012年度沼田市決算資料から問題点を探る

市内区別の人口数ベスト10

*人口多数ベスト10 H25年3月31日現在 *人口少数ベスト10

No.	区名	人口	世帯	No.	区名	人口	世帯
1	高橋場町	4,004	1,632	1	佐山町開拓	10	4
2	薄根町	2,476	980	2	秋塚町	58	25
3	上原町	2,283	956	3	岩本町上野	69	31
4	横塚町	2,094	828	4	岩室	74	36
5	下川田町	1,759	639	5	今井町	77	24
6	東原新町	1,702	716	6	穴原	84	36
7	戸鹿野町	1,494	598	7	佐山町北部	87	40
8	上古語父	1,455	530	8	上之町	109	48
9	柳町	1,440	597	9	中町	118	51
10	下久屋町	1,411	616	10	石墨町西部	129	47

沼田市基金(貯金)の状況

H25年3月31日現在 多い順

	基金名	金額 単位千円
1	財政調整基金	3,436,422
2	合併振興基金	1,601,085
3	土地開発基金	370.639
4	奨学資金貸付基金	178,680
5	温泉事業基金	169,029
6	観光施設建設基金	151,811
7	福祉振興事業基金	123,559
8	介護給付費準備基金	118,936
9	庁舎整備基金	100,004
10	ふるさとづくり基金	91,317
	その他11基金小計	93,025
	合計	6,434,507

*この他に出資金が6億円以上あります。

子どもを安心して産めるように保育料を引き下げて!

熊の子保育園が市長交渉



あいさつする星野市長と参加者のみなさん

12日、沼田市役所北庁舎において現行制度を根底から解体させるおそれのある「子ども・子育て支援制度(新制度)」の実施が迫る状況の中、熊の子保育園関係者が星野沼田市長に保育水準を低下させず、いっそうの充実をと14項目の陳情を行ないました。

この陳情には、子どもを抱えたお母さんなど約30人が参加し、市側は星野市長はじめ子ども課長など職員3人が対応しました。

参加者は、「2人目の子どもをつくることを躊躇していたら、第1子と4年の間があき、第2子の保育料半額の期間が1年しかなかった。無条件で第2子は半額、第3子は無料ということを実施してほしい」と切実に訴えるなど、項目ごとに参加者が要望しました。

要望を受け、星野市長が項目ごとに回答を行ないましたが、現行の範囲内での内容にとどまり、切実な要望を「実施する」という回答はありませんでした。

給与の削減は継続せず元に戻して…県労会議が市に要請 非常勤等の最低賃金の時間給を20円引き上げ実施

群馬県労働組合会議は12日、年1回の自治体交渉として沼田市を訪れ、林副市長など市幹部と懇談しました。要請内容は事前に文書で提出してあり、市からの回答も文書で行なわれました。

それらを含め、今年度国から強制された「市職員の給与削減」は今年度にとどめ、来年度は元に戻すよう県労会議から要請し、市はそのように考えてると回答しました。また、公契約条例の制定なども要請し、懇談の中で、非常勤職員の最低時給を



県労会議と市との懇談会

750円から770円に引き上げていたことがわかりました。

2013年11月17日 No.679

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519
井之川博幸議員活動地域版部内資料